

- 2025年4月新設！
膠原病センターのご紹介
- CS（ケア・サポート）セットの導入について
- ライトアップ事業について
- 清掃ロボットの導入について
- 第19回「まごころ職員大賞」が決定
- チーム医療「栄養サポートチーム(NST)」

2025年4月新設！ 膠原病センターのご紹介

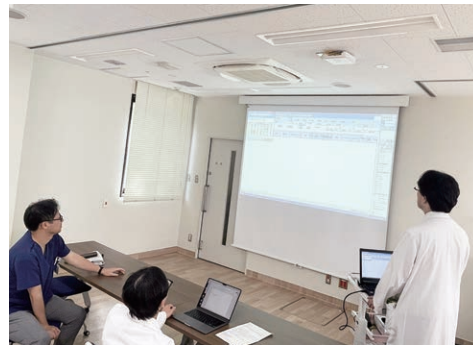
膠原病センター

■ 膠原病（こうげんびょう）とは

膠原病には関節リウマチ、全身性エリテマトーデス、全身性強皮症、皮膚筋炎／多発筋炎、シェーグレン症候群、全身性血管炎などが含まれます。特定の病気を指すのではなく、全身の結合組織（血管、皮膚、筋肉、関節など）に炎症が起こる病気の総称で、免疫機能の異常によって、自分の体を攻撃してしまう自己免疫疾患の一種です。

■ 膠原病センターの理念

当院では従来より、成人の膠原病患者さんに対しては、障害臓器に応じて各診療科が連携し診療を進めてきました。しかし、紹介すべき診療科が明らかでなければ、地域の医療機関から当院に紹介しにくい状況にありました。そのため、成人の膠原病（疑いを含む）患者さんを、より当院に紹介しやすい体制をつくることを目的に、「膠原病センター」を開設しました。当センターは、院外からの成人の膠原病（疑いを含む）患者さんの新規紹介を目的としたものです。



▲カンファレンスの様子

■ 診療内容

月曜日から金曜日まで、膠原病センターの初診を担当する医師を1～2名配置しています。曜日ごとに担当する診療科・医師は変わりますが、膠原病（疑いを含む）であれば、症状や障害臓器に関係なく、初診を担当する医師が自身の専門にかかわらず初回の診療にあたります。



初診担当医の判断のもと、その後は必要であれば障害臓器に応じて院内の各診療科が連携し診療にあたります。

その後は、障害臓器が明確な場合には、従来どおり、特定の診療科を予約いただくか、外来担当医予定表より「膠原病センター」内で当該診療科の担当医を指定して予約していただいても結構です。ただ、関節リウマチの診療に関しては、木・金曜日をご指定ください。整形外科が担当します。

曜日によって膠原病を担当する診療科・診察室が替わるため、どの診察室が担当であるかすぐに分かるよう、扉に「膠原病センター」の表示を掲げています。

..... センター長からのコメント

当院は、滋賀県内唯一の大学病院として、県内の難病診療において中核を担ってまいりました。しかし、膠原病疑いの症状については、これまで当院には紹介に対応できる窓口がなかったことから、地域の医療機関から紹介がしにくい状況でした。今回この膠原病センターを開設したことで、障害臓器に多様性がある成人の膠原病患者さんに対して、膠原病センターが中心となり関係する診療科がよりスムーズに連携し、協力して診療を提供できる体制が整いました。地域の医療機関の皆さまには、ぜひ当センターをご活用いただければと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

CS (ケア・サポート) セットの導入について

病院経営戦略課

当院では、2025年8月より、入院の際に病衣等の貸与をご希望される患者さんを対象に、「CS(ケア・サポート)セット」を導入しました。

■ CSセットとは

患者さんの感染症対策と、ご家族にかかる洗濯などの負担の軽減を目的として、患者さんが入院時に必要となる病衣、タオル、おむつ類を、1日単位で利用いただくレンタルシステムです。

■ レンタル内容

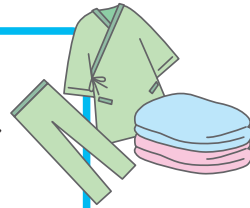
● Aプラン

【衣類】

- ・浴衣
- ・甚平
- ・マタニティ
- ・小児用病衣

【タオル類】

- ・バスタオル
- ・フェイスタオル



500円(税抜)×利用日数+消費税



● Bプラン

【衣類】

- ・浴衣
- ・甚平
- ・マタニティ
- ・小児用病衣



390円(税抜)×利用日数+消費税

● サービス品

上記の各プランをご利用の方は、必要に応じて以下のサービス品をご使用いただけます。

- ・ストロー
- ・蓋つきコップ
- ・箸、スプーンフォークセット
- ・歯ブラシ
- ・歯磨き粉
- ・ソフトパッキティッシュ
- ・イヤホン
- ・スポンジブラシ
- ・ボディソープ
- ・リンスイシャンプー
- ・ティッシュポット/トランク



■ ご利用上の注意点

- ・入院から退院までの利用された全ての日数分の料金が発生します。
- ・利用期間中は、使用枚数に関わらず、日額定額制です。
- ・入院費とは別にお支払いいただきます。
(請求は「株式会社エラン」が行います。)



サービス品を別売としたプランもあります。



詳しくはこちら▲

ライトアップ事業について

病院経営戦略課

当院では、さまざまな疾患予防の啓発活動の一環として、各種のライトアップ事業に参加しています。

当院のライトアップの様子



毎年5月の第1火曜日
「世界喘息デー」



最近のライトアップ期間
2025年5月7日～5月13日

毎年8月10日
「健康ハートの日」



最近のライトアップ期間
2025年8月1日～8月10日

毎年10月29日
「世界脳卒中デー」



最近のライトアップ期間
2024年10月23日～10月29日

清掃ロボットの導入について

病院経営戦略課

当院では、2025年9月から、院内の清潔を保つため、清掃ロボットを導入しました。

運用について

ロボット稼働中は近くに清掃作業員が控えています。
稼働中は「清掃ロボット稼働中」の掲示を行います。

稼働時間

午前7時～8時まで（日・祝除く）

稼働場所

外来棟1階 廊下・待合等

稼働中の様子



人や物を感知し、
安全運転で清掃を
行っています！

第19回「まごころ職員大賞」が決定

患者サービス向上委員会

まごころ職員大賞とは？

職員の患者サービス・接遇意識の向上を啓発することを目的に、患者さんやご家族の方々から「対応が良かった」等とご推薦をいただいた職員を表彰する制度です。



▲「まごころ職員大賞」に選出されたスタッフ
(代理受賞者含む)と田中病院長

患者サービス向上委員会において、投票総数326票の中から8名の職員に決定しました。2025年3月19日(水)に表彰式が行われ、田中病院長から表彰状と記念品の贈呈があり、ねぎらいの言葉がかけられました。

これからも、心あたたまる医療の提供を目指し、接遇向上に向けた取り組みを実施してまいります。

チーム医療「栄養サポートチーム(NST)」

栄養治療部

当院では、2003年に京滋地区で初の栄養サポートチーム“Nutrition Support Team (NST)”を立ち上げ、入院患者さんの栄養サポートに積極的に関わっています。

栄養サポートチーム (NST) とは

当院の栄養サポートチーム (NST) は、医師、歯科医師、薬剤師、管理栄養士、看護師、臨床検査技師、歯科衛生士など多職種で構成され、実践的な栄養評価のもとに患者さん個々の病態に応じたオーダーメイドの栄養管理を推進しています。摂食嚥下の評価や訓練を行う耳鼻咽喉科・頭頸部外科の医師や言語聴覚士、摂食・嚥下障害看護認定看護師とも連携し、活動を展開しています。



▲栄養サポートチーム (NST) 集合写真

活動内容

毎週月・木曜日の午後に、カンファレンスや入院患者さんのラウンドを行っています。ラウンドでは、主治医、患者さんとともに情報交換を行い、投与カロリーの見直し、経腸・経静脈栄養法の選択、提供食の選択などを行います。



▲カンファレンスの様子

入院患者さんの栄養管理は入院期間中だけでなく、外来での治療、転院先での治療、在宅での治療へと引き継がれていきます。

各病院でのNST活動の連携がスムーズに展開されるように、退院時・転院時に栄養情報提供を行うなど、栄養管理における地域医療連携の役割も担っています。

チームメンバー (NST) からのコメント

当院のNSTは、国立大学病院の中でもトップクラスとなる年間2,823件の介入実績を誇り、豊富な経験と知見に基づいた栄養支援を行っています。低栄養の早期発見や回復促進に向けたきめ細やかな対応を通じて、患者さんの治療効果と生活の質の向上を目指しています。栄養は治療の土台です。あらゆる面から安全で質の高い栄養管理を実現し、安心して治療に臨んでいただけるよう、NSTが全力でサポートいたします。

滋賀医科大学医学部附属病院 理念

「信頼と満足を追求する『全人的医療』」

滋賀医大病院ニュース第69号

編集・発行：滋賀医科大学広報委員会

〒520-2192 大津市瀬田月輪町

TEL：077(548)2012(総務企画課広報係)

過去の滋賀医大病院ニュース(PDF版)はホームページでご覧いただけます。



●理念を実現するための 基本方針

- 患者さんと共に歩む医療を実践します
- 信頼・満足・安全を提供する病院を目指します
- あたたかい心で質の高い医療を提供します
- 地域に密着した大学病院を目指します
- 先進的で高度な医療を推進します
- グローバルな視点を持ち、人間性豊かで優れた医療人を育成します
- 将来にわたって質の高い医療を提供するため、健全で安定した病院経営を目指します